

比奈知ダムのお八重桜

～4月24日版～

カンザン・フゲンゾウ・ショウゲツ・ウコンザクラの写真は4月22日、アマノガワは4月24日に撮影



下流親水公園の八重桜並木（4月23日撮影）

比奈知ダム下流公園および、ひなち湖周辺では、八重桜が見頃となっております。

八重桜とは、桜の園芸品種のうち八重咲きになるものの総称で、実はその品種は様々。比奈知ダム周辺で見られる八重桜の代表的な品種の特徴をまとめましたので、見比べてみてください。

関山



カンザン

別名、セキヤマ。
ヤエザクラでは最も代表的な品種。濃ピンクの花色で、若葉は赤茶色です。塩漬けの桜の原料になります。

普賢象



フゲンゾウ

花色は薄紅で、赤みがかった若葉。緑色の雌しべが花の中央から2本出ている、これが普賢菩薩の乗る象の鼻に似ていることから命名されました。

松月



ショウゲツ

つぼみは濃いピンクですが、開花すると花びらの端が薄紅で、中心部は白。花はフゲンゾウとよく似ていますが、若葉が緑色で区別がつけます。

鬱金桜



ウコンザクラ

別名、黄桜、浅葱桜。淡黄色の花を咲かせる珍しい桜。花色がショウガ科のウコンで染めた色に似ていることから命名されました。

天の川



アマノガワ

天に向かって伸びる枝。箒のような珍しい樹形の桜です。白い花まで天を向いて咲きます。